リソースグループに、「Role=Infra」というタグをつける

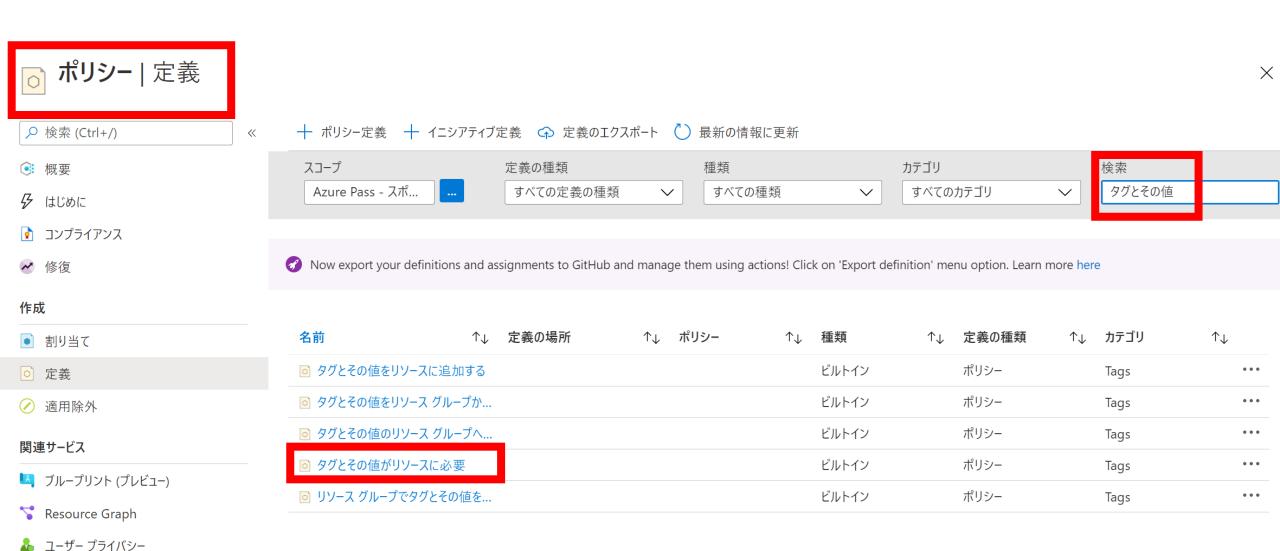


リソースグループの下にはストレージアカウントがあり、Roleタグはついていない

畫 構成

ホーム > リソース グループ > cloud-shell-storage-southeastasia > cs11003200116c17ec4 cs11003200116c17ec4 タグ 🖈 ストレージ アカウント ▼ すべて削除 ■ 概要 タグは名前と値のペアで、同じタグを複数のリソースやリソースグループに適用することでリソースを分類したり、統合した請求を表示したりできるようにします。タグ名は大文字と小文字か ■ アクティビティ ログ せんが、タグ値は大文字と小文字が区別されます。タグに関する詳細情報は 🥏 タグ タグ データはグローバルにレプリケートされるため、リソースの安全性を低下させたり、個人情報や機密情報が含まれたりする名前や値は入力しないでください。 ♪ 問題の診断と解決 名前 ① 値① アクセス制御 (IAM) : azure-cloud-shell ms-resource-usage Data migration **ゲ** イベント Storage Explorer (プレビュー) cs11003200116c17ec4 (ストレージ アカウント) 設定 ms-resource-usage : azure-cloud-shell ↑ アクセスキー 変更なし geo レプリケーション CORS

ポリシー定義「タグとその値がリソースに必要」を検索する



ポリシー定義「タグとその値がリソースに必要」の「割り当て」をクリック

ホーム > ポリシー >

タグとその値がリソースに必要

ポリシー定義



🖉 定義の編集 🗋 定義を複製する 🗻 定義の削除 🗘 定義のエクスポート

へ 基本

名前 : タグとその値がリソースに必要

定義の場所: --

説明 : 必要なタグとその値を強制的に適用します。リソースグループには適用されません。 定義 ID : /providers/Microsoft.Authorization/policyDefinitions/1e30110a-5ceb-460c-a204-c...

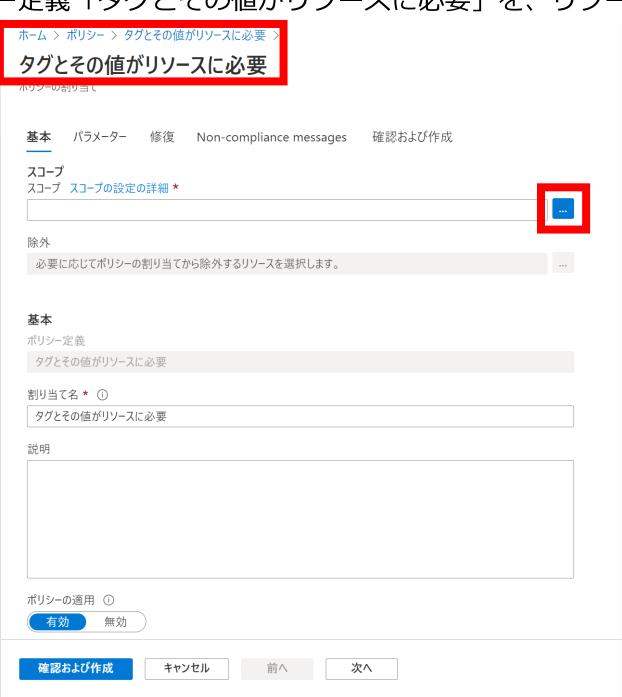
利用可能な特殊効果: Deny 種類 : ビルトイン

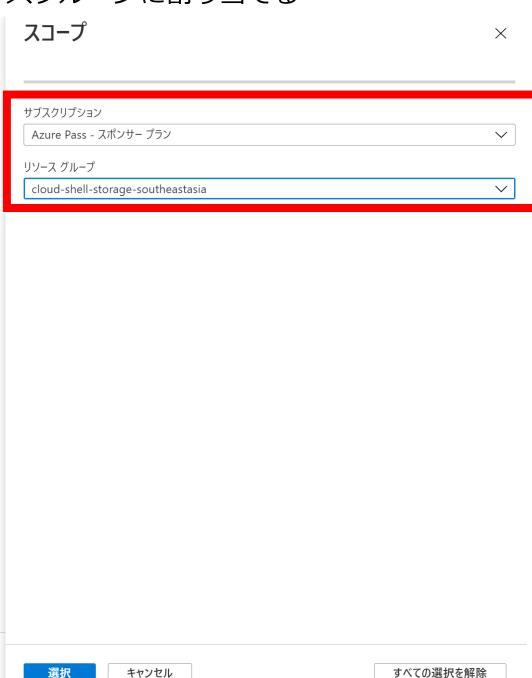
カテゴリ モード : Indexed : Tags

割り当て(0) パラメーター 定義

```
1
      "properties": {
2
3
        "displayName": "タグとその値がリソースに必要",
        "policyType": "BuiltIn",
        "mode": "Indexed",
        "description": "必要なタグとその値を強制的に適用します。リソース グループには適用されません。",
 6
        "metadata": {
7
          "version": "1.0.1",
 8
          "category": "Tags"
9
10
        "parameters": {
11
          "tagName": {
12
13
            "type": "String",
            "metadata": {
14
             "displayName": "タグ名",
15
             "description": "タグの名前 (例: environment)"
16
17
18
```

ポリシー定義「タグとその値がリソースに必要」を、リソースグループに割り当てる





割り当て名を指定

ホーム > ポリシー > タグとその値がリソースに必要 >

タグとその値がリソースに必要

ポリシーの割り当て

基本 パラメーター 修復 Non-compliance messages 確認および作成		
スコープ		
スコープ スコープの設定の詳細 * Azure Pass - スポンサー プラン/cloud-shell-storage-southeastasia		
·		
除外 必要に応じてポリシーの割り当てから除外するリソースを選択します。		
必要に心してホティーの自サコ(ガラ欧/ドナのナノ)人と思いしるす。	***	
#+		
基本 ポリシー定義		
タグとその値がリソースに必要		
割り当て名 * ①		
Infra 値を持つ Role タグが必要		
説明		
Cloud Shell リソース グループ内のすべてのリソースの Infra 値を含む Role タグが必要	<u> </u>	
ポリシーの適用 ①		
有效無效		
確認および作成 キャンセル 前へ 次へ		

タグ名に「Role」を指定。タグ値に「Infra」を指定。

ホーム > ポリシー > タグとその値がリソースに必要 >

タグとその値がリソースに必要

確認および作成

キャンセル

前へ

ホーム > ポリシー > タグとその値がリソースに必要 >

タグとその値がリソースに必要

ポリシーの割り当て

基本 パラメーター **修復** Non-compliance messages 確認および作成

既定では、この割り当ては新しく作成されたリソースに対してのみ有効になります。既存のリソースは、ポリシーが割り当てられ た後に修復タスクを使用して更新できます。deployIfNotExists ポリシーの場合、修復タスクで、指定されたテンプレートをデ プロイします。modify ポリシーの場合、修復タスクで既存のリソースのタグを編集します。

マネージド ID

DeployIfNotExists と modifly 効果の種類を含むポリシーでは、既存のリソースに対してそれぞれリソースをデプロイし、タグ を編集する機能が必要です。これを行うために、マネージド ID が作成されます。 マネージド ID についての詳細。

マネージド ID を作成します ①

マネージド ID の場所

米国東部

アクセス許可

▲ このポリシーにはロールの定義が含まれていません。deployIfNotExists ポリシーと modify ポリシーは、マネージド ID に対 して正しいロールの割り当てを作成するために、ロールの定義を指定する必要があります。

確認および作成

キャンセル

ポリシーがリソースグループに割り当てされた。



✓ ポリシー割り当てが正常に作成されました。

18:20

'Azure Pass - スポンサープラン/cloud-shell-storagesoutheastasia' にポリシー割り当て 'Infra 値を持つ Role タグが 必要'が正常に作成されました。この割り当てが有効になるまでに、 約 30 分かかることにご注意ください。

割り当て状況の確認

ホーム > サブスクリプション > Azure Pass - スポンサー プラン > ポリシー



◎ 概要

夕 はじめに

コンプライアンス

✓ 修復

作成

■ 割り当て

○ 定義

適用除外

関連サービス

■ ブループリント (プレビュー)

Resource Graph

ل ユーザー プライバシー



検証①新しいストレージアカウントを作成するときにタグが付いていないとエラーになることを確認

ホーム >

ストレージ アカウント 🕏

既定のディレクトリ (test20210215outlook.onmicrosoft.com)







任意のフィールドのフィルタ...

サブスクリプション == すべて

ポリシーを割り当てたリソースグループの下に作成

ホーム > ストレージ アカウント >

ストレージ アカウントの作成

基本 ネットワーク データ保護 詳細 タグ 確認および作成

Azure Storage は、高可用性、セキュリティ、耐久性、スケーラビリティ、冗長性を備えたクラウド ストレージを提供する Microsoft が管理するサービスです。 Azure Storage には、 Azure BLOB (オブジェクト)、 Azure Data Lake Storage Gen2、 Azure Files、 Azure Queues、 Azure Tables が含まれます。 ストレージ アカウントのコストは、使用量と、下で選ぶオプションに応じて決まります。 Azure ストレージ アカウントの詳細 🗹

プロジェクトの詳細

デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを使用して、すべてのリソースを整理し、管理します。



インスタンスの詳細

既定の展開モデルは Resource Manager であり、これは最新の Azure 機能をサポートしています。代わりに、従来の展開モデルを使った展開も選択できます。 クラシック展開モデルを選択します



確認および作成

< 前へ

次: ネットワーク >

ここでは、あえて、タグを指定しない。

ホーム > ストレージ アカウント >

ストレージ アカウントの作成

基本 ネットワーク データ保護 詳細 タグ 確認および作成

タグは名前と値のペアで、同じタグを複数のリソースやリソース グループに適用することでリソースを分類したり、統合した請求を表示したりできるようにします。 タグに関する詳細情報 ♂

タグを作成してから別のタブでリソースの設定を変更すると、タグは自動的に更新されることにご注意ください。



確認および作成

< 前へ

次: 確認および作成 >

「Role=Infra」がないので、作成前の検証でエラーとなり、作成ができない。

ホーム > ストレージ アカウント >

ストレージ アカウントの作成

検証に失敗しました。詳細を表示するには、ここをクリックしてください。→

データ保護 ネットワーク 詳細 タグ 確認および作成

基本

サブスクリプション Azure Pass - スポンサー プラン

リソース グループ cloud-shell-storage-southeastasia

場所 東南アジア

ストレージ アカウント名 test2342342342 デプロイ モデル Resource Manager アカウントの種類 StorageV2 (汎用 v2)

レプリケーション 読み取りアクセス geo 冗長ストレージ (RA-GRS)

パフォーマンス Standard

ネットワーク

接続方法 パブリック エンドポイント (すべてのネットワーク)

既定のルーティング階層 Microsoft ネットワーク ルーティング

データ保護

ポイントインタイム リストア 無効 BLOB の論理的な削除 無効 コンテナーの論理的な削除 無効

Automation のテンプレートをダウンロードする

エラー \times

未処理エラー 概要

エラーの詳細

リソース 'test2342342342' はポリシーにより許可されませんでした。(コード: RequestDisallowedByPolicy)

ホリン⁻: Infra 値を持つ Role タクか必要

この情報は役に立ちましたか? 🖒 🗘

トラブルシューティングのオプション

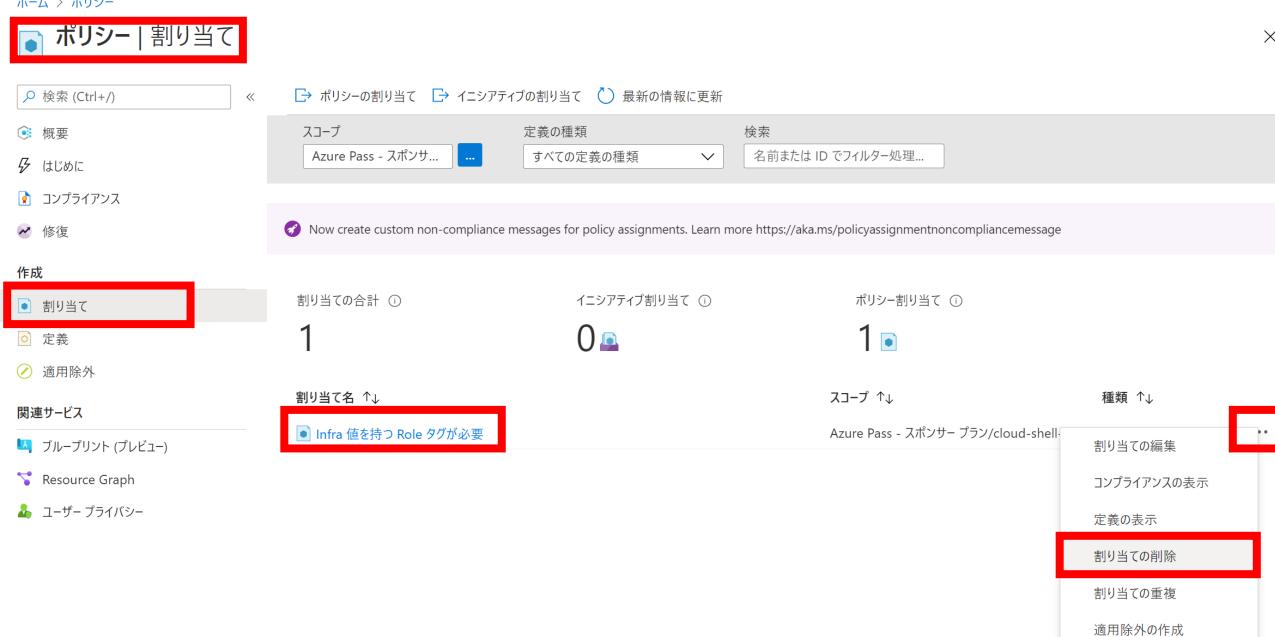
使用量とクォータの確認 🖸 新しいサポート リクエスト 🖸

作成

< 前へ

次へ >

検証①終わり。いったんポリシーの割り当てを解除



「存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する」というポリシーを割り当て直す



使用可能な定義



ポリシー定義 (2)

存在しない場合は、サブスクリプションからタグを継承する

ビルトイン

指定されたタグのないリソースが作成または更新された場合、このタグを、それを含むサブスクリプションからその値を指定して追加します。修復タスクをトリガーすると、既存のリソースを修復できます。このタグに別の値が存在する場合は変更されません。

 \times

存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する

ビルトイン

指定されたタグのないリソースが作成または更新された場合、親リソースグループのこのタグとその値を追加します。既存のリソースは、修復タスクをトリガーすることによって修復できます。タグに別の値が存在する場合は変更されません。

指定されたタグのないリソースが作成また は更新された場合、親リソースグループの このタグとその値を追加します。既存のリ ソースは、修復タスクをトリガーすること によって修復できます。タグに別の値が存 在する場合は変更されません。

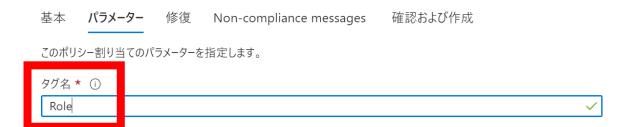
選択

キャンセル

継承するタグの名前を指定する

ホーム > ポリシー >

ポリシーの割り当て



確認および作成

キャンセル

前へ

このポリシーの場合、「修復タスク」を一緒に作ることができる。

ホーム > ポリシー >

ポリシーの割り当て

基本 パラメーター **修復** Non-compliance messages 確認および作成

既定では、この割り当ては新しく作成されたリソースに対してのみ有効になります。既存のリソースは、ポリシーが割り当てられた後に修復タスクを使用して更新できます。deployIfNotExists ポリシーの場合、修復タスクで、指定されたテンプレートをデプロイします。modify ポリシーの場合、修復タスクで既存のリソースのタグを編集します。

✓ 修復タスクを作成する ①

修復するポリシー

存在しない場合は、リソース グループからタグを継承する

マネージド ID

DeployIfNotExists と modifly 効果の種類を含むポリシーでは、既存のリソースに対してそれぞれリソースをデプロイし、タグを編集する機能が必要です。これを行うために、マネージド ID が作成されます。マネージド ID についての詳細。

マネージド ID を作成します ①

マネージド ID の場所 *

米国東部

アクセス許可

この ID には次のアクセス許可も付与されます:

共同作成者

□ールの割り当て (アクセス許可) は、ポリシーで指定された□ールの定義に基づいて作成されます。

既定では、この割り当ては新しく作成され たリソースに対してのみ有効になります。

既存のリソースは、ポリシーが割り当てられた後に修復タスクを使用して更新できます。

deployIfNotExists ポリシーの場合、修復タスクで、指定されたテンプレートをデプロイします。

modify ポリシーの場合、修復タスクで既存 のリソースのタグを編集します。

確認および作成

キャンセル

前へ

割り当てを作成

ホーム > ポリシー >

ポリシーの割り当て

パラメーター 修復 Non-compliance messages 確認および作成

基本

Azure Pass - スポンサー プラン/cloud-shell-storage-southeastasia スコープ

除外

ポリシー定義 存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する

割り当て名 Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継... 説明 Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継...

ポリシーの適用 有効

割り当て担当者 hiryamada@microsoft.com

パラメーター

tagName Role

修復

マネージド ID の作成 はい マネージド ID の場所 eastus 修復タスクを作成する はい

Non-compliance messages

1 No non-compliance messages associated with this assignment.

キャンセル

前へ

割り当ての作成が完了。ただし、割り当てが有効になるまで30分かかるという表示が出る。

■■■ ロール割り当ての作成が進行中

19:28

ロール割り当てがまもなく作成されます。これには数分かかることがあります。

✓ ポリシー割り当てが正常に作成されました

19:28

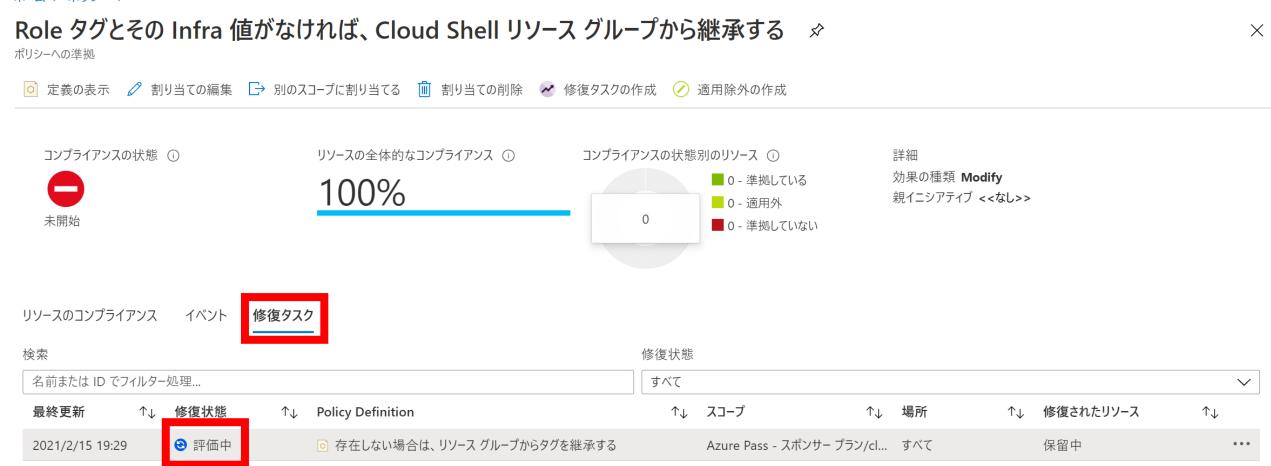
'Azure Pass - スポンサープラン/cloud-shell-storage-southeastasia' にポリシー割り当て 'Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継承する' が正常に作成されました。この割り当てが有効になるまでに、約 30 分かかることにご注意ください。

検証②新しいストレージアカウントを作る。この場合タグを指定しなくても「Role=Infra」が付与される。



「修復タスク」をチェックしてみると、「評価中」となっている。

ホーム > ポリシー >



しばらくすると「修復タスク」の「修復状態」が「完了」となるが、修復されたリソースは0となる。

Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継承する 🕏

ポリシーへの準拠

○ 定義の表示 🖉 割り当ての編集 🕞 別のスコープに割り当てる 前 割り当ての削除 🛩 修復タスクの作成 🕜 適用除外の作成

へ 基本

名前

: Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継承する

除外スコープ:0

スコープ

説明 : Role タグとその Infra 値がなければ、Cloud Shell リソース グループから継承する

 \vee

定義 : 存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する

割り当て ID:/subscriptions/cf0e837a-26be-4c05-913a-262b4a943f24/resourceGroups/cloud-sh...

選択されたスコープ ①

選択された 1 個のサブスクリプション

コンプライアンスの状態 ()

準拠していない

リソースの全体的なコンプライアンス ()

50%

2 からの 1

コンプライアンスの状態別のリソース ()



詳細

: Azure Pass - スポンサー プラン/cloud-shell-storage-southeastasia

効果の種類 Modify 親イニシアティブ <<なし>>

リソースのコンプライアンス

イベント

修復タスク

検索 名前または ID でフィルター処理...

最終更新

↑↓ 修復状態

Policy Definition

 $\uparrow \downarrow$

修復状態

すべて

スコープ

 $\uparrow\downarrow$ 場所

修復されたリソース

 $\uparrow\downarrow$

2021/2/15 19:42

❷ 完了

○ 存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する

Azure Pass - スポンサー プラン/cl... すべて

0 からの 0

. . .

X

「修復」メニュー>「修復するポリシー」で、「…」から「修復」を選択

ホーム > ポリシー

■ ブループリント (プレビュー)

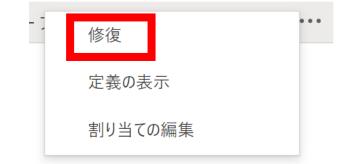
Resource Graph

🚣 ユーザー プライバシー



🗻 ポリシー | 修復





 \times

2つめの「修復タスク」を作成する

ホーム > ポリシー >

新しい修復タスク

修復アクション 修復するポリシー ① 存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する 定義の表示 説明: 指定されたタグのないリソースが作成または更新された場合、親リソース グループのこのタグとその値を追加します。 既存のリソースは、修復タスクをトリガーすること によって修復できます。タグに別の値が存在する場合は変更されません。 修復するリソース スコープ * Azure Pass - スポンサー プラン/cloud-shell-storage-southeastasia 修復前にリソース コンプライアンスを再評価する ① 場所 ① 1 つも選択されていません \vee 名前 ↑↓ リソースの種類 ↑↓ 場所 ↑↓ スコープ 読み込んでいます...

2つめの「修復タスク」が完了すると、無事、修復(既存のストレージアカウントへのタグ付け)が行わ れた

 \times

ホーム > ポリシー

Resource Graph

🏊 ユーザー プライバシー



🗻 ポリシー | 修復



「修復」によって、最初の(タグを付けていない)ストレージアカウントに、タグが付与されている ht-ム〉cloud-shell-storage-southeastasia〉



<<



Explorer で開く → 移動 ∨ () 最新の情報に更新 | 前 削除 | ○ フィードバック



| 概要

■ アクティビティ ログ

● タグ

問題の診断と解決

アクセス制御 (IAM)

P Data migration

ゲ イベント

Storage Explorer (プレビュー)

設定

↑ アクセスキー

geo レプリケーション

CORS

■ 構成

△ 暗号化

Shared Access Signature

ペットワーク

ウキュリティ

↑ Azure Monitor のクラシック アラートは 2021 年の廃止が発表されているため、新しいアラート プラットフォームにアラート機能が保持されるようクラシック アラート ルールをアップグレードすることをお勧めします。 詳細については、「ARM ストレージ アカウントでアラートを継続する」を参照してください。 🗗

ヘ 基本

リソース グループ (変更)

cloud-shell-storage-southeastasia

状態

プライマリ: 利用可能

場所

東南アジア

サブスクリプション (変更)

Azure Pass - スポンサープラン

サブスクリプション ID

cf0e837a-26be-4c05-913a-262b4a943f24

タグ (変更)

ms-resource-usage: azure-cloud-she

Role: Infra

パフォーマンス/アクセス層 Standard/ホット

レプリケーション

ローカル冗長ストレージ (LRS)

アカウントの種類

StorageV2 (汎用 v2)



コンテナー

非構造化データ用のスケーラブルでコス ト効率の高いストレージ

詳細情報



ファイル共有

サーバーレスの SMB および NFS のファイ ル共有

詳細情報



テーブル

表形式データ ストレージ

JSON ビュー

詳細情報

参考: その後の検証にて・・・

• 2つ目の「修復タスク」を作らなくても、「ポリシー割り当て」と「修復タスク」を作成し、**数十分放置すれば**、「修復タスク」が再度実行され、既存のストレージアカウントにタグが追加される動作が確認できた

・ポリシーが効き始めると修復タスクも効き始めると思われる

ただし、Azure Policyドキュメントには、「何分間隔で修復タスククが実行される」あるいは「ポリシー作成後〜分で修復タスクが実行される」といった記載は見当たらなかった

まとめ

- 「タグとその値がリソースに必要」
 - 効果 = deny
 - 「修復タスク」は作れない
 - ・ポリシー適用後に作成するリソース
 - ポリシーに違反する場合はリソースが作成できない
 - ポリシー適用前から存在するリソース
 - ポリシーに合致するように手動で訂正(タグを追加)する
- 「存在しない場合は、リソースグループからタグを継承する」
 - 効果 = modify
 - ポリシー割り当て時に「修復タスク」を作成できる
 - ・ポリシー適用後に作成するリソース
 - ポリシーに合致するように自動的に修正(タグが追加)される
 - ポリシー適用前から存在するリソース
 - 「修復タスク」が実行されると自動的に修復(タグが追加)される